令和5年度 富山育英センター 県立高校受験動向予想

第4回育英模試「実力判定模試」結果報告
高岡地区&砺波地区分析

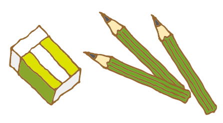
令和5年度 富山県立高校入試募集定員・令和4年度 一般入試倍率 第4回育英模試（11月実施）における第一志望者データ・目標点［全体平均128.8点］

高岡地区

高校	学科	R5入試募集定員	R4入試一般倍率	第1志望者データ			目標点
				人数	最高点	平均点	
小杉	総合	160	1.22	18	143	99.0	108
大門	普通	120	0.95	25	145	102.3	121
新湊	普通	120	0.91	10	121	98.3	109
	商業	40	1.25	—	—	—	88
高岡	普通	160	1.10	102	182	153.5	156
	※探究科学	80	1.00	38	191	166.4	164
高岡工芸	機械	40	1.23	1	64	64.0	89
	電子機械	40	1.46	—	—	—	94
	電気	40	1.29	2	83	74.5	94
	建築	40	1.09	3	81	72.3	95
	土木環境	40	1.38	—	—	—	82
	工芸	30	1.13	3	112	101.0	92
	デザイン・絵画	40	0.95	6	108	84.3	100
高岡商業	流通ビジネス	80	0.95	6	119	78.8	89
	国際ビジネス	40	0.53	—	—	—	102
	会計ビジネス	40	0.91	1	81	81.0	94
	情報ビジネス	40	1.25	7	106	79.7	100
伏木	国際交流	120	0.84	2	88	87.5	88
高岡南	普通	160	1.06	95	170	132.6	143
福岡	普通	120	1.32	28	145	107.8	135
氷見	普通	80	0.80	5	133	109.2	110
	農業科学	40	0.88	—	—	—	79
	海洋科学		0.81	—	—	—	73
	ビジネス	40	1.04	—	—	—	88
	生活福祉	40	1.23	2	69	60.0	83

砺波地区

高校	学科	R5入試募集定員	R4入試一般倍率	第1志望者データ			目標点
				人数	最高点	平均点	
砺波	普通	160	1.11	46	166	134.9	145
砺波工業	機械	80	0.46	4	111	66.8	83
	電気	40	0.65	1	76	76.0	83
	電子	40	1.18	2	77	54.0	83
南砺福野	普通	160	1.09	41	145	104.9	120
	国際	30	0.81	—	—	—	117
	農業環境	30	0.81	—	—	—	88
	福祉	30	1.27	2	97	74.0	88
南砺平	普通	30	0.67	—	—	—	90
石動	普通	120	0.93	7	110	83.3	108
	商業	40	0.70	2	85	64.5	88



表の見方

R5入試募集定員…一般入試・推薦入試の総定員の数です。
県立高校のR4入試一般倍率…(一般入試受験者数)÷(一般入試募集人数)
国立高専のR4入試一般倍率…(一般入試志願者数)÷(一般入試合格者数)

◎目標点は、今回の模試で志望校判定がB(合格可能性が70%以上80%未満)となる点数です。
平均点128.8点(200点満点)

※富山・富山中部・高岡高校の『探究科学科』は、「理数科学科」と「人文社会科学科」2学科の総称で、入試は2学科合計の定員で募集・実施されます。

高岡地区

定員減を志望校変更の材料にする時期ではない

今年の高岡地区の大きなトピックスはなんといっても、高岡普通科、氷見普通科の定員削減といえるだろう。高岡市、射水市、氷見市の中3生が合計で68名減ってはいるが、話はそう単純ではなさそうだ。各高校の詳細を記していく前に、「一生に一度の高校入試で『○○は定員減だし、志望校を変えよう』というような安易な選択はするべきではない」ということを念頭において読んでいただきたい。

まずは高岡。昨年、探究科学科の倍率は、1.00倍となり、近年では最も低い倍率となった。ただ、普通科と合算して考えたときに総志望者299名、1.07倍、普通科からのスライド合格もあり、全員が合格したわけではなかった。第4回育英模試の第一志望者数は38名で、昨年とほぼ同数だが、スライド合格の定着で普通科志望の生徒が探究科学科で出願することは十分に考えられる。普通科の第一志望者数は、昨年より約20名減少している。定員減の影響で、はやくも志望校を変更している生徒が一定数いると考えられる。ただ、高岡市の中3生は大きく人数が減少（昨年比79名減）しているため、例年通りのボーダーで十分合格は狙えるといえる。定員が減少したからといって、目標点が大きく変わることはなさそうだ。現状の推移でいくと、探究科学科と普通科の合算で1.08～1.13倍と予想する。

そして、同じく定員減の氷見普通科。氷見市の中3生は昨年比4名減とほぼ変わらない。毎年、氷見進学者の大半を氷見市内の生徒が占めるため、定員減の影響が大きく出そうだ。昨年は募集人数に達しなかったが、昨年通り志望者を集めると1.20倍となる。志望者は入試に向けて例年以上に力をつける必要がある。

次に高岡南。第4回模試の第一志望者数は95名と昨年よりも16名増えている。既に高岡定員減の影響が出ている、最も今後の志望者数に留意しなければならない。高岡が定員減だから安易に早くも志望校を変更したという生徒は、年があけての自分の点数や模試の志望者数を材料にして志望校決定を遅らせてもよいのではないか。前述したように今の推移でいくと、高岡のボーダーは大きく変わらない。塾や学校の先生に相談し、慎重に志望校を選定することをおすすめする。昨年の1.06倍よりは倍率が高くなるのは必至だが、どこまで上振れするかは今後の動向次第だ。

続いて福岡。第4回模試の第一志望者数が昨年より2名減となった。近隣中学校の中3生数が昨年より少ないため、1.32倍と高倍率だった昨年よりは倍率が低くなるはずだ。しかし、高岡南からの志望変更の動きがあるかに注目しておくべきだ。大門は現時点で第一志望者数が昨年よりも6名減となっている。ただ、射水市の中3生が昨年より15名増加している。一昨年の倍率1.20倍程度まで戻ることは十分に考えられる。

昨年定員割れした新湊普通科。今回の第4回模試では、昨年同数ほどの志望者数だ。現状の推移では1.10倍程度と予想するが、例年同様、志望校変更により倍率が左右されるであろう。3年前は1.26倍までに達してしており、氷見普通科の定員減の影響を受けると考えられる。小杉は、第一志望者数が昨年比5名増。射水市の中3生数の増加から1.30～1.40倍と予想する。小杉は毎年最終回模試までに大きく志望者数が変動することがあり、2年前の1.81倍だったときはそれが顕著に出ていた。伏木は例年の動きから1.00～1.10倍か。高岡商業・高岡工芸はそれぞれの学科で推薦入試が実施され、年によって学科ごとに倍率が大きく変動することから注意が必要だ。

冒頭にも記した通り、一生に一度の高校入試である。受験生であれば倍率や定員減を気にして不安になる気持ちは分かるが、安易に志望校を変更しないでほしい。志望校合格に必要なのは、どうしてもそこに行きたいと強く想う気持ちと日々の継続的な努力である。本格的な志望校の決定は「冬にやるだけやったあとについている学力」で判断してよい。周りの情報に一喜一憂せず、残りの3ヶ月余りを悔いが無いように全力で取り組んでほしい。

太田 明良［高岡本部校］

砺波地区

砺波・南砺福野は昨年以上の激戦に！

まずは砺波地区一番の進学校である砺波。昨年定員40名減となり、倍率は1.11倍となった。今年も定員は昨年同様の160名だが、砺波市の中3生は昨年に比べて40名程度多いようだ。また、今年定員が40名削減となった高岡普通科からの志望変更は少なからず出てくることだろう。一方、早くも砺波から南砺福野への志望変更も出ているようだ。結果、砺波の倍率は昨年の1.11倍と大きく変わらないと思われるが、合格ラインは昨年よりも上がるだろう。昨年以上に激戦必至の様相である。

次に南砺福野。普通科は昨年1.09倍と久々に定員を上回った。前述のとおり、砺波からの志望変更が出てきているようで、第4回育英模試の第一志望者数を見ると昨年同時期より13名上回っている。また、今年の8月に行われた第3回育英模試と比較しても16名増えている。現時点での予想倍率は1.12～1.18倍といったところ。国際科は令和2年度入試で「南砺福野の国際科」となって以来、一般入試の倍率が、0.63倍→1.22倍→0.81倍といった感じで上下動を繰り返している。南砺福光の頃と異なり、普通科色の強い学科であることは浸透してきたようだが、普通科との上下はいまだ明確ではない。予想倍率は1.00～1.20倍。普通科と国際科の間ではスライド合格があるので、これらの学科を受験する場合、必ず第二志望の学科も記入することを忘れないでもらいたい。農業環境科は昨年定員を下回ったが、元来高倍率になりがちな学科なので今年は要注意。予想倍率は1.20～1.50倍。福祉科は昨年並みで1.05～1.25倍といったところ。

石動は昨年普通科が定員割れとなったが、小矢部市の中3生が昨年より40名程度減っていることを鑑みると、今年の倍率もそれほど高くならないと予想される。ただ、例年普通科と商業科との間で揺れ動く生徒も見られるため、定員の少ない商業科は今後の変動に注意が必要。予想倍率は普通科が1.00倍程度、商業科は現時点では1.00～1.35倍。

砺波工業は3学科合算でみると、一昨年0.90倍・昨年0.70倍と2年続けて定員を下回っている。今年は少しもり返すように思われるが、予想倍率は1.00倍程度。ただし、学科間のバランスは年によって変わるので、1.30倍くらいになる学科や1.00倍を下回る学科も出る可能性がある。

以上が現時点での考察である。第4回模試では第3回模試より全体の平均点が上がっている。教科によっては平易な問題もあったかもしれないが、受験生の皆さんが頑張っている成果だと感じる。まだ志望校の目標点に届いていない人は、今の段階で諦めてしまうのではなく、目標点まであと何点必要かを確認し、「その分の点数をアップさせるために、12月中に○○を頑張るぞ、冬休みには冬期講習で苦手な□□を克服するぞ」といった前向きな姿勢で臨んでほしい。勝負はまだまだこれから！

渋谷 武人［砺波校］

冬休み直前 教科別アドバイス

社会

教科書と問題集での基礎固め&過去問演習で自信をつけよう!!

●地理は、〝知識〟を重視した出題形式であるとともに、出題される地域も多岐にわたっています。世界地理では、ここ数年地図を用いた出題が続いています。地図の特徴をおさえるとともに、各州の産業についても注目しておく必要があります。一方、日本地理では雨温図の読み取りや農産物の資料を読み取る問題が出題されやすいです。富山県で使われている教科書には「世界から見た日本の姿」、または「世界と比べた日本の地域的特色」という単元があります。そちらに掲載されている資料などをもう一度確認しておきましょう。

●歴史は、調べたことをまとめたカード形式、写真資料をもとにした形式、年表をもとにした形式と様々な出題形式があります。どのような出題形式であっても、江戸時代と明治以降の近代史は必須です。さらに、今年は奈良時代や平安時代などの天皇や貴族中心の時代について注目するとよいでしょう。対策としては、各時代で活躍した人物を中心に、「内政」、「外交」、「文化」ごとにそれぞれ関係することをまとめておきましょう。出来事や人物名を見たら、その時代を答えられるように勉強する必要があります。また、最近の入試では戦後の歴史に関する出題が続いています。しっかりとチェックしておきましょう。

●昨年から中3で使用する公民の教科書が新しくなりました。そのため、新しく掲載されている語句がいくつか見られます。特に第1章や最終章に多く見られますが、昨年の入試には出題されませんでした。一方、他県では出題され始めているため、今後出題される可能性は十分にあります。用語が不安な人は、学校のワークを使って、もう一度用語を漢字で書けるかどうかを確認しておくとよいでしょう。また、図表を用いた出題も多いです。「三権分立の図」や「税金の種類をまとめた表」などを、何も見なくてもまとめられるようにしておくことが大切です。

●県立入試はここ数年、過去に出題された内容と類似した問題が出題されています。基本事項の確認を終えたら、過去問演習に取り掛かりましょう。入試本番で似ている問題が出題されれば、自信を持って解くことができ、その自信が皆さんを志望校合格へと導いてくれるでしょう。

中田 陽介［福光校］

国語

問題文と本文を読解する力をつけ、記述問題を攻略しよう！

●令和4年度入試は、記述問題が計5問と出題数自体は例年並みでしたが、説明的文章で「情報を整理する力」が、文学的文章で「作品を解釈する力」がそれぞれ求められており、高い国語力を要するものが出題されました。文章読解問題の演習では、1題あたり15分程度で解けるように時間を計りながら取り組みましょう。記述問題はもちろんのこと、記号選択や抜き出し問題にもしっかりと取り組んでおきましょう。課題作文は「情報通信機器が可能にする社会」というテーマで、資料を読み取る条件作文でした。どのようなテーマや条件でも書くことができるように、普段から、様々なテーマの作文を10分程度で書き終える演習をしておく必要があります。解答後は日本語として正しい表現ができているかを確認する習慣が大切です。記述問題や課題作文の演習後は、自己採点だけでなく添削指導も積極的に受けましょう。

●漢字では、「書き」は小学校範囲、「読み」は中学校範囲からの出題となります。「書き」においては同音異義語や同訓異字に注意しながら、文意に沿った漢字を書くことができるように、短文形式での練習を心がけましょう。「読み」においては熟字訓が出題されることもありますので、教科書巻末にある常用漢字表や付表も見ておきましょう。また、知識を身につけることも大切なので、語句問題では慣用句や熟語の構成、四字熟語など、文法問題では助詞や助動詞など紛らわしい品詞の識別の演習は確実に行っておきましょう。

●古典では、古文または漢文・漢詩からの出題となります。古文では、仮名遣いを改める問題や動作主を問う問題、漢文・漢詩では、返り点や詩の形式といった基本的な問題を確実に解けるようにしておきましょう。それだけではなく、内容読解問題で差がついてしまうので、話の流れを読み取る練習もしておきましょう。

臼山 賢［氷見校］

理科

実験・観察の確認！計算問題や記述問題、図示問題を得点源に！

●理科の入試問題は、教科書の実験・観察から多く出題されます。教科書や学校のノートなどで、実験・観察の手順や器具の操作法、試薬の反応、結果と分かることなどを確認しましょう。特に実験や観察上の注意点は、その理由も含めて記述問題で問われることが多くあります。また、教科書の欄外にも大切な事柄が載っています。しっかり目を通しておきましょう。図や写真なども入試で出題されるポイントです。合わせて確認しましょう。

●ここ4年間、理科の平均点が低くなった要因が、難易度の高い計算問題や思考力が必要な問題が含まれていることが挙げられます。計算問題では、ただ公式に当てはめるだけではなく、問題に与えられた情報から必要な数値を取捨選択し、そこから答えを導き出すまでの道筋がかなり複雑な問題が多く見られます。まずは公式をしっかりとマスターし、さらに様々な応用問題に挑戦して問題に慣れることが必要です。思考力が必要な問題については、ただ丸覚えをするような勉強では対処できません。いろいろな理科的現象について、その要因やその現象が起こる過程などを理解しようとする姿勢が大切です。一方、記述問題や図示する問題は、それほど難易度の高い問題は出題されていません。これまで受けたテストに出た記述問題や図示問題を一通り見直して、模範解答どおりにかけるようにしましょう。また、グラフをかいたり利用したりする問題は、いろいろなパターンが出題されており、やや難しい問題もあります。問題演習でそれぞれの特徴をつかむようにしましょう。

●理科が苦手という人は、まずは苦手な単元について基本事項の見直しを行ってください。教科書や参考書のまとめのページなどを利用して、重要事項を覚え直し、基本問題がしっかり解けるようになるところから始めましょう。高得点を目指す人は、他県の入試問題等で演習を繰り返して実践力をつけてください。

谷井 繁行［大沢野校］

英語

総合的な英語力を養おう！

●リスニングでは、イラストや表などの正誤問題、対話や説明を聞き取り、質問に対する答えや正しいグラフを選ばせる問題が出題されました。また、英文に数字や英単語を入れたり、英文のタイトルを考えさせたりする問題など、バラエティに富んでいます。英文を聞いたり、音読したりする機会を作り、英語の耳を鍛えていきましょう。

●対話文・長文読解では、グラフや表を用いた文章、メールのやり取りが出題され、段落ごとの構成を意識した設問もありました。新学習指導要領からの出題が多く、読む文量が増え、より深い読解力が試されました。対話文・長文を試験時間内に読み切るために、まずは英単語を覚え、正しい文法知識を身につけましょう。その上で、時間を計って読解問題に取り組みましょう。その後、わからなかった単語・文法・問題の洗い出しを行い、一つずつ解決していきましょう。

●英作文では、並べ替え問題、イラストを用いた条件英作文、25語以上の英語で自分の意見を書く問題が出題されました。日本語の指示をしっかりと読み取り、自分の意見を正しい英語で書けるように練習を重ねましょう。練習で書いたことのある英文を書くのが減点されない英作文を書くコツです。入試までに様々なテーマで自分の意見を書き、添削を受け、ストックを増やしておきましょう。並べ替え問題の対策として、中1～3の教科書に出てきた基本文を総まとめしておきましょう。条件英作文の対策には、同じく教科書の会話表現を何度も書いて覚えるとよいでしょう。自分の知っている単語・文法を駆使し、自分の表現したいことがもっと簡単な英文にならないか常に考えながら、問題に取り組むようにしましょう。

●新学習指導要領改訂により、難易度が高くなることが予想されます。新たに増加した文法事項を理解すると共に、今まで以上の読解力、表現力を身につけましょう。

田中 浩二［城南本部校］

数学

図形は冬休みに徹底演習を!!『データの活用』の見直しを!!

●入試レベルの総合問題演習では50分の制限時間を設定して演習しましょう。計算問題や基本問題の大問では効率よく解き、応用問題の大問では十分に時間をかけるという時間配分を、体で覚えることが必要です。時間がかかりそうな問題があれば後回しにして、時間切れを起こさないように心がけましょう。また、残りの5分は見直しにあてましょう。基本問題などでのケアレスミスを防ぐためにも、徹底しましょう。

●ここ数年、富山県の高校入試は特定の分野に偏らず、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の分野が、まんべんなく出題されています。苦手を作らないことが大切です。この4つの分野を意識して、バランスよく取り組みましょう。

●入試問題の平面図形・空間図形の問題は、三平方の定理や相似の性質を利用するかなりの難問です。中3の2学期の図形の範囲は、入試に直結する内容ですが、今の時期において、ほとんどの生徒はまだまだ演習量が足りない状態です。この冬休みは、図形の問題の演習を徹底して行い、実力を養っていきましょう。

●令和4年度入試では、新課程の内容「データの活用」の単元が出題されました。今後も、この「データ」の単元は要注意です。中1で学習した「データの分布」の内容、中2で学習した「データの散らばり」の内容を確認しましょう。数値を求めることだけでなく、比較してわかることなどを自分なりの言葉で表現する力もつけておきましょう。

熊野 隆夫［小杉校］

生徒とともに、45年。
育英の冬期講習
12/25 SUN START!
対象 幼児・小学生/中学生/高校生 ※校舎により対象学年・コース・開講日が異なる場合があります。詳細はホームページをご覧ください。

＼自宅でラクラク申込♪／
Web早期申込割引 12/8(木) 24:00まで
Web早期申込はおトクがいっぱい!
●図書カードがもらえる“友人紹介制度”を利用できます。
●申し込んだその日から快適な自習室が使用できます。
※一部適用外となるケースがあります。詳しくはお問い合わせください。
※他の割引との併用はできません。12/9以降もお申込みは可能です。

冬期講習受講生もチャンス! 実施中
お友達紹介キャンペーン
育英センター塾生、および冬期講習をすでに申し込まれた方からの紹介を受けて、冬期講習の受講申込をされた場合、紹介者・被紹介者の双方に、図書カードを進呈します。
※一部対象外となるコースがあります。詳しくはお問い合わせください。

希望の春に願いよ届け!!

冬期講習受講後、継続して1月に入塾されると 入塾金最大17,600円無料
※一部対象外となるコースがあります。他の特典とは併用できません。詳しくはお問い合わせください。

全校舎一斉開催! 冬期講習説明会
●コース・クラスの詳しい内容が聞きたい!
●自分にあったクラスで学習したい!
●冬休みの学習について相談したい!
●受験の仕組みについて詳しく知りたい! 等
毎週土曜日開催 12/3(土)・10(土)・17(土) 詳細はHPの各校舎ページをCHECK!

幼児部・小学部
小学本科コース 小3～小6
2学期内容の徹底理解と学習習慣の定着
小6は中1英語の内容を先取りマスター
中学受験Vコース 小4～小6
過去問データをもとにした、片山学園中・富大附属中入試対応クラス
のびのびスクール 年中
きちんとした授業を受ける経験を積み、今後の学力の土台の形成
玉井式国語的算数教室 年長～小2
映像を見てストーリーを理解する力や図形のイメージ力を育成
国語的算数ドリル無料進呈（年長のみ）
中学受験V×玉井式国語的算数教室 小3
玉井式と中学受験Vコースのコラボレーション
イングリッシュクラブ（のびのびイングリッシュ） 年中～小6
外国人教師との会話を通し、楽しみながら基礎的な英語力を身につけます
他にも様々なコースがございます。詳しくはお問い合わせください。

中学部
中学1年生 パワーアップコース
主要3教科の復習と発展
中学2年生 レベルアップコース
入試を見据えた基礎学力の充実と応用
中学3年生 高校入試突破コース
冬期講習と2回の模試で入試実戦力の徹底強化

高校部
高校1年生 東大・国公医受験科 大学受験科
高1基礎内容の完成とともに、入試を意識した学習
高校2年生 東大・国公医受験科 大学受験科
高2内容の演習と、大学入学共通テストに向けた基礎学力の強化
高校3年生 東大・国公医受験科 大学受験科
直前に迫る大学入学共通テストに向け、様々な問題に挑戦
atama+コース 高1・高2
AIを用いた学習システムで、人間では不可能なレベルの分析力で「わからない」を元から断って「できる」に導きます。

高1～高3 育英大学受験映像コース 〈アイ・ベリタス〉 i-Veritas 映像授業×個別指導
【冬期講習】12/25(日)～30(金)
［開設校］入善校・小杉校 氷見校・小矢部校

小1～高3 育英がつくる、これからの、新しい個別指導のカタチ。 育英総合個別コース〈アイ・パーソナル〉 i-Personal 富山【冬期講習】 1:2型個別 1:1型個別 家庭教師

2022→2023 富山育英センター最強の布陣で臨む!
大晦日・正月特訓
一年の計は正月特訓にあり!
中3 12/31(土)・1/3(火) ※オンライン対応可能 1日だけ・半日だけの受講も可能です。
志望校別特講 ［開設校］富山本部校・高岡本部校・魚津本部校
高3 12/30(金)・31(土)・1/2(月)・3(火)
大学入試直前特講 ［開設校］富山本部校・高岡駅南校・魚津本部校
※各講座とも定員になり次第締め切らせていただきます。詳しくはお問い合わせください。

キミも先輩に続け! 輝かしい実績が証明する、育英センター塾生の合格力!
令和4年度 高校入試合格実績
富山中部高校…151名
富山高校……112名
高岡高校…101名
魚津高校…41名
砺波高校…37名
片山学園高校…10名

富山中部……151
（うち探究科学科）38
富山…………112
（うち探究科学科）26
高岡…………101
（うち探究科学科）31
魚津………41
砺波………37
富山東……73
呉羽………45
富山南……40
富山いずみ 20
八尾………15
富山北部…18
富山商業……9
富山工業…15
富山西………1
高岡南……31
福岡………15
大門………14
新湊………10
氷見…………8
小杉…………7
高岡工芸……3
高岡商業…1
桜井………33
滑川………17
入善………13
雄山…………9
魚津工業……3
南砺福野…22
石動…………7
砺波工業……2
片山学園…10
富山高専…49
ほか多数合格

御三家（富山中部・富山・高岡）合計364名合格・探究科学科合計95名合格 公立高校・国立高専…合計1,009名合格
※令和4年4月4日現在。富山・金沢・福井育英センター塾生のみの実績。講習生、模試生等は一切含まれません。

英知・徳・自立を育む
富山育英センター
富山本部校 〒930-0005 富山市新桜町6-22 TEL.076-441-8006
※富山本部校受付時間 平日・土曜/9:00～21:00
※各校舎は火曜から土曜の13:30より開校いたします。
https://www.toyama-ikuei.com/ ikuei